

社会貢献活動（地域ボランティア活動）実施報告

（一社）旭川林業土木協会

活動内容	「外国樹種見本林」で環境整備を実施
------	-------------------

- 1 実施年月日 令和8年6月5日
2 実施場所 北海道旭川市
上川中部森林管理署
神楽国有林

- 3 参加会員数
会員企業人数 112名
その他人数 4名
のべ人数 116名

- 4 活動内容
上川中部森林管理署長と当協会会長が「社会貢献の森」森林整備活動協定を平成26年に結び、13年目となる今年も112名が参加し環境整備活動を実施しました。
実施に先立ち開会式では、当協会副会長飯島から「近隣住民や観光客が散策する皆さんのために汗を流してほしい」と挨拶したのち、飯島上川中部森林管理署長から「毎年の皆さんの協力で今の見本林がある」と例年の整備に対する感謝がありました。
整備内容は、不法投棄のゴミを拾い、林内を迷路のように張り巡らされている遊歩道を刈り払い、更に、ご高齢の方々も歩きやすく約20㎡の木材チップ敷設を実施しました。
13回目となる今年も、見本林内にある三浦綾子記念文学館をはじめ近隣住民や外国人を含む観光客からも好評であり、また、近隣小学校の野外活動にも利用されていることから、当協会では今後も協定に基づき活動を継続して行う予定です。

活動写真



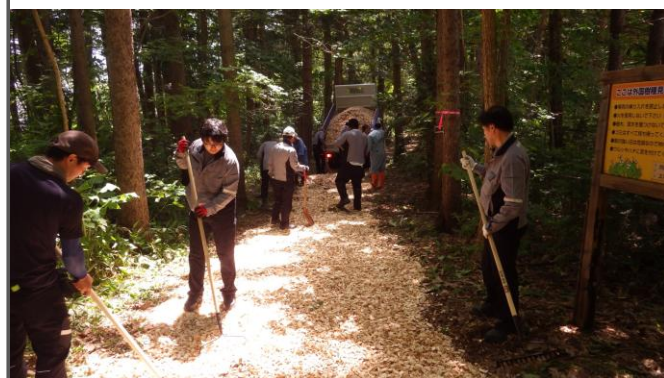
副会長挨拶



署長挨拶



刈り払い



チップ敷設

2026年
(令和8年)

6月10日
水曜日

北海道建設新聞

発行所

北海道建設新聞社

〒060-0004札幌市中央区
北4条西19丁目1番地11

TEL(011)611-6311

FAX(011)621-2913

<https://e-kensin.net/>

旭川支社(0166)26-2541

苫小牧支社(0144)33-0161

帯広支社(0155)22-0401

函館支社(0138)52-3870

釧路支社(0154)41-3832

空知支社(0126)25-2444

小樽支社(0134)33-0866

北見支社(0157)23-4666

室蘭支局(0143)24-5188

留萌支局(0164)42-2443

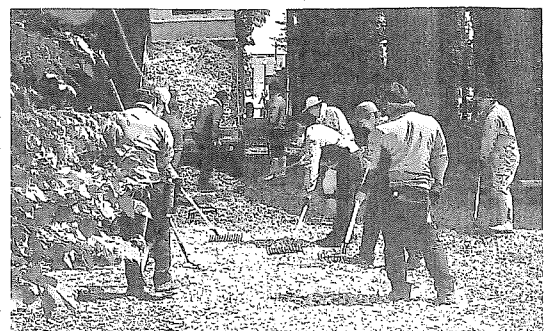
稚内支局(0162)73-1830

網走支局(0152)44-2675

©北海道建設新聞社2026

快適利用へ環境整備

旭川森人の会 外国樹種見本林で



見本林の整備に取り組んだ

【旭川】旭川林業土木協会や旭川地方森林整備事業協同組合などで構成する「旭川森人の会」は5日、旭川市神楽にある外国樹種見本林を整備した。遊歩道の木材チップ敷設や雑草の刈り払いをし、利用環境の整備に貢献した。

同協会と上川中部森林管理署は「社会貢献の森における森林整備活動に関する協定書」を締結し、例年整備活動に

取り組んでいる。今回で13回目の実施となり、120人が参加した。

同協会の飯塚弘泰副会長は近年見本林の往来が多くなっていることに触れ、「安全に気を付けてふさわしい整備を」と呼び掛けた。飯島康夫上川中部森林管理署長は「関係各所の協力で今の見本林がある」と例年の整備に感謝を示した。参加者は5区画、8班に分かれて作業を実施。快適な利用に向けた整備に努めた。

北海道通信

昭和26年11月19日第3種郵便物認可
日刊 祝祭日、日曜日、土曜日 休刊

日刊建設版

令和 8 年 第19851号
6 月 9 日 (火曜日)

発行所 札幌市中央区北5条西6丁目

株式会社 北海道通信社

☎(代) 222-3521 FAX 222-3532

発行人 松木 謙 公

支社 東京 6272・4534 旭川 23267 函館 27781

釧路 25241 帯広 27872 岩見沢 24957

支局 室蘭 21735 網走 23719

小樽 20515 稚内 23711 留萌 22716

(購読料 1 ヲ月 32,400 円)

【旭川発】旭川林業土木協会(新谷龍一郎会長)は5日、ことしで13年目となる外国樹種見本林の環境整備を行った。写真1。協会

をはじめ上川中部森林管理署などから120人が参加。遊歩道沿いのササ刈りや木材チップを敷設し、利



見本林の環境を整備

旭川林土協等 奉仕活動

用者が心地良く散策できるよう手分けして作業に当たった。協会は上川中部森林管理署と「社会貢献の森における森林整備活動に関する協定書」を締結。2014年

から旭川地方森林整備事業協同組合や旭川市民らで構成する「旭川森人の会」として毎年、見本林の敷地内で環境整備を続けている。開会式で飯島弘泰副会長は「皆さんの協力のおかげで、活動を継続してきた。見本林は市民の憩いの場であり、国内外から多くの方が訪れている。ことしも皆さんで爽やかな汗を流そう」と呼びかけた。

見本林を管理する上川中部森林管理署の飯島康夫署長は「明治31年から外国樹種が植栽された見本林は、旭川市の発展とともに育ってきた。活動(ボランティア)を毎年行うのは大変なこと。こうして市民に支え

られうれしく思う」と述べ、感謝の意を示した。参加者は5地区・8班に分かれて活動を開始。遊歩道沿いのササや雑草を刈り払ったほか、捨てられたごみを手分けして回収した。また、施設の利用者から

各企業等の社会貢献活動